

1月の俳句 万物のかたらしに雪の降りつもる 長谷川 權

いよいよ、2年生は1月31日（日）からスキー宿泊学習になります。大山凌君の発案のスローガン「**立志 未来の扉を開こう ～夢に一步近づくために～**」のもと、実行委員を中心に生徒の力で準備してきました。生徒は、行事を成功させる度に大きく成長していきます。保護者の皆様も、生徒のいい思い出となるよう、出発前や帰校後などぜひお子さんの話を聞いてあげてください。成人式もそうですが、立志式も家族で祝うことで家族のつながりや将来の生き方などを考える機会となります。よろしくお祈りします。今週も本校生の活躍や、新聞、テレビでの紹介が多くありました。ご存じの方も多いたとは思いますが、改めてお知らせいたします。1月中に配布した学校だよりはホームページに更新されていますので、写真はカラーでご覧になれます。改めてご覧ください。

1 下野市教育のつどい 教育委員会表彰善行篤行表彰

1月23日（土）に国分寺公民館で“下野市教育のつどい”が行われました。市内の小中高生のスポーツ・文化優秀生徒の表彰と合わせて、中学生の善行篤行表彰が行われました。本校からは生徒2名が表彰を受けました。

本校には他にも善行篤行に値する生徒がたくさんいますが、本校生の代表としてのすばらしい取り組みが評価されたものだと思います。おめでとうございます。

他にも、本校の卒業生である溝口拓斗君、高山梓さんが、優秀優良選手で、また本校事務長の吉田崇先生が優秀教職員表彰を受けました。合わせてご紹介します。

また子ども未来プロジェクトの取り組みについて、各校生徒会の皆さんですばらしい発表を行ってくれました。また、生徒会の代表生徒でティッシュ配布をしました。

2 市長と中学生の特別授業

1月25日（月）、2年生を対象に広瀬寿雄市長による特別授業が行われました。ねらいとしては、立志を迎えた2年生が市長と懇談し、自己実現や下野市の一員としての意識を高めることにつなげようとするものです。

市長の中学生時代の話や、鈴木先生と同級生としての思い出、そして子どもの医療費の補助や下野市の今後についてなども話してくださいました。生徒からは、下野市の歴史や特産物、リサイクル等についての質問がでました。今回も、下野新聞ととちぎテレビの取材があり、26日の下野新聞で大きく紹介されました。

2年生は真剣な態度で市長さんの話を聞いていました。



市教育のつどい善行篤行表彰



広瀬寿雄市長による特別授業



善行篤行表彰を受けた生徒たち



子ども未来プロジェクトの発表



各小学校に贈った特別教室用防災ずきん



子ども未来プロジェクトの発表をしてくれた生徒会本部代表3名と担当の先生

3 自治医科大学看護学部看護実習

1月21日(木)、22日(金)、自治医科大学看護学部から、看護実習として10名の学生さんが本校で研修を行いました。1, 2年生の各学級に分かれ、授業を参観したり、一緒に給食を食べたりすることで生徒との交流もできました。生徒達も、進路の選択や学生生活の楽しいこと、大変なことをなどを質問することができ、お互いにプラスの多い実習になったと思います。感想や中学生へのエールなどを書いてもらいましたので、その一部を紹介します。

自治医科大学看護学部の学生さんの感想、生徒の皆さんへのエール

- 南河内中学校の生徒のみなさんはとても元気がよく、男女の仲がよいので驚きました。しかし、授業・清掃・給食の準備などやる時にはきちんとやる様子があり、とても印象に残りました。私たちを受け入れ、たくさん話しかけてくれてとても嬉しかったです。私が看護師を目指すようになったのは中学生の頃でした。そして中学時代の友達とは今でも仲良くしています。中学の3年間はとても大きなものでした。南河内中のみなさんも今この時間を大切にしてください。





真剣に市長さんの話を聞く 2年生



積極的に質問もしました



○ 朝、学校に着いたとき野球部、テニス部の生徒が元気に明るくあいさつをしてくれ、1日の始まりが明るくスタートできました。生徒達は、元気で明るく、そして心のやさしく、そして男女とも仲のよい生徒が多いことを感じ、学校の雰囲気も明るいと感じました。このような雰囲気を作ることができるのは先生方が明るく生徒達を思っていることが伝わってきて、生徒も先生方になんでも話すことができる関係であるからだと思います。そして生徒達の行動も一生懸命に取り組む姿が見え、私も中学生生活の事を思い出しながら、頑張らなければと思いました。これから、将来や友人関係で悩むこともあると思いますが、周りの人を大切にしながら夢に向かって頑張ってください。2日間楽しかったです。ご指導ありがとうございました。

○ 生徒と関わり思ったことは、男女間でも仲がいいと思いました。クラスの雰囲気作りも大切であり、クラスの雰囲気がいいと生徒も安心して登校できると思いました。私の母校ではジャージのチャックは全開で、腰パンなど身だしなみの整っていない人が多くいました。身だしなみが整っていると、あいさつや礼儀のよさがあり、学校全体の雰囲気の良さにつながるのではないかと思います。生徒の方は素直であり、言われたことに反発することもなかったもので、そのままの良さで中学校生活、高校生活を楽しく元気に過ごしてほしいと思います。

○ 生徒たちの元気と仲の良さ、朝練習を中断して部員があいさつするなど素晴らしいと思える場面がたくさんありました。興味があることに対して、目を輝かせながら質問され中学生ならではのあこがれに初々しさを感じました。またそのように興味関心はもっと様々な事に対して抱き、今だからできることやってみたいことにどんどん挑戦して行ってほしいと思いました。2日間という短い時間でしたが、南河内中学校の温かさに触れられた充実した2日間でした。ありがとうございました。



初日 職員室でのあいさつ



教室の環境整備についての研修

4 学校評価のための保護者アンケートについて その3

前号でも、紹介しましたが、保護者の皆さまに協力をいただいたアンケートの結果について、全体の傾向や保護者の皆さんのご意見を紹介していきたいと思えます。今回は学習、行事・部活動以外についてお知らせします。

アンケートの評価は A…大変あてはまる B…当てはまる方が多い
C…当てはまる方が少ない D…あてはまらない の4段階です。

- 1 4 本校の生徒指導の方針や生活の決まりはわかりやすい。
A 36% B 59% C 3% D 2%
- 1 5 先生は、いじめや不正のない学級作りに努めている。
A 40% B 54% C 4% D 2%
- 1 6 先生やカウンセラーは、相談事や悩み事について、適切に応じてくれている。
A 37% B 58% C 4% D 1%
- 1 8 学校は、家庭への連絡や情報提供を十分に行っている。
A 33% B 61% C 5% D 1%

保護者の皆さんからのご意見
※主なものを集約してあります。個人のご意見については、教頭や担任等から個人的に返答させていただく予定です。

- ・校則が明確でない。
- ・行事や授業に関する連絡が遅く、内容もよくわからないことが多い。

生活のルールや不正のない学級作り、相談への対応や情報提供では、まだまだ十分ではないと学校としての反省を感じています。90%以上が肯定的評価ではありますが、さらに多くの保護者の方に、「大変あてはまる」と答えてもらえるよう努力していきます。

情報の発信については、保護者会の資料で年間予定表配布、学校だより、ホームページで行事の日時の紹介、また1ヶ月前には通知で行事の案内を心がけています。しかし本校担当の不手際であったり、外部機関からの日程の変更については申し訳なく思います。校則などについて最低限のルールをもとに、生徒の意見を集約して細かい対応を決める場合もありますが、決まったことに対しては教員全員の指導が同一になるよう指導をしていきます。

保護者の皆さんは、ともに子ども達の成長のために協力いただくサポーターだと考えています。協力いただいた結果やお寄せいただいた意見を今後の学校経営に反映できるよう努力していきますので、アンケートの時以外にも、お気づきのことがありましたら、遠慮なくご意見としてご連絡ください。よろしくお願ひします。

5 インフルエンザの予防接種やうがい・手洗いをお願いします

インフルエンザの流行が始まりました。市内の中学校でも学級閉鎖がありました。また、おたふく風邪や胃腸炎など他の疾病も出てきています。予防接種も含め、うがい・手洗いなどご家庭声をかけていただいていると思ひますが、抵抗力を高め、病気になりにくい体になるようきちんとした生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯など）についても、くりかえしご指導ください。